

～はなのえん～

花宴

筆（ききょう入居者：前田 恵美子様）

発行責任者

社会福祉法人積慶園

特別養護老人ホーム山科積慶園

施設長 古村正哉

京都市山科区北花山大林町34番地

電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第5号

発行日平成23年4月1日（春号）



安心して頂ける
暮らしを...

特別養護老人ホーム山科積慶園
チーフター - 佐藤 裕子



出合いを
大切に...

特別養護老人ホーム山科積慶園
事務主任 湯川 和美

こんにちわ。佐藤裕子です。

3月11日に起こった東日本大震災では犠牲になられた方をはじめ被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

一日でも早く、心の傷が癒え、被災した町の復興を心よりお祈り申し上げます・・・。

さて、山科積慶園が開所して早いもので3年が過ぎました。

山科積慶園で働かせていただくことになり、私はチーフという肩書をいただいておりますが実際には2階さくら（ショートステイ）の現場にも入りながらの兼務であり、チーフとしてまだまだ、各フロアリーダーを中心に各ユニットリーダーやスタッフに支えられている日々です。

ですが、最近では人員不足のユニットフォローに入る時間を作ることができ、多くの入居者様と関わる機会も徐々にですが増えてまいりました。

今後も、ユニットのフォローだけでなく入居していただいている方々の思いや声に耳を傾けつつ、皆様が安心して園での余生を過ごせるお手伝いのできればと、思っております。

チーフとしてはまだまだ未熟者ですが、精一杯努力する所存であります。今後ともよろしくお願い致します。

起床5時半。まさか山科区まで通勤することになるとは…。今までは考えられない時間に起床し、出勤する毎日となっています。

特別養護老人ホーム山科積慶園開設準備室から事務の業務を任せられ、あっという間に3年が経ちました。空き地で何もなかったこの土地に、施設が建っていく過程を見ながら、準備室のころは、日々備品購入リストと戦っていました。今、これだけ沢山の人が集まったの生活空間となり、職場となっていることを思うと、開所の瞬間に立ち会うことができ、よかったと思います。

事務関係の業務は普段、ご入居者との直接の関わりはあまりありませんが、事務所を訪ねて来られる方や、デイサービスのご利用者との関わりは大切にしていきたいと思っております。

山科積慶園の面会者は月に累計500名を超えます。3年目にはいった今も変わらずたくさんの方に来園いただき、うれしく思います。施設の方針である「ぬくもりと絆」を築けるよう一人ひとりを大切に暖かい施設、働きや安い職場であるよう、影ながら支えていける存在になれたらと思っております。



5ヶ月の行事

12月 《 クリスマス会 》

おごそかなベルの演奏、そして楽しいクリスマスソング。最後は手作りケーキをおいしくいただきました。



《 忘年会 》

おつまみ、ノンアルコールビール、変装、女装、ピンクレディと余興たっぷり楽しい年忘れでした。



1月 《 初詣 》

年の初め、岩屋神社にお参りをして、ちょっと大津まで足を延ばしてレストランでお昼ご飯を食べてきました。寒かったけどお出かけ、お食事と満足でした。



2月 《 節分 》

鬼のお面を作って豆の代わりにボールで鬼をやっつけました。



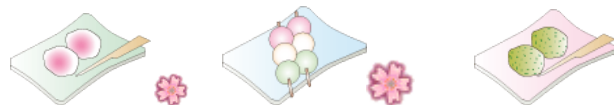
3月 《 お雛様製作 》

今年は簡単に作れた可愛いお雛様の壁掛け、桃の節句におうちに持ち帰っていただきました。



4月の予定

今年はなかなか暖かくなりませんが、桜が咲いたらお花見に坂本へ出かけます。花もいいけど、花の後はもちろんだんごも一緒に楽しめます。



編集後記 * * * * *

早いものでもう4月の到来、新年度がスタート致しました。当施設におきましたはお陰様で3年目を迎えようとしています。

近所の公園の桜が満開となりお花見の計画がこちらで聞こえてまいりました。次号でご報告できればと思います。それでは末筆ではございますが今後とも何卒宜しくお願い致します

(佐藤雄)



ユニット自慢!

第4弾

「やまぶき・さくら」

4月に入りまだまだ寒い日が続きます。やまぶき・さくらユニットでは、入居者様の体調管理、状態の変化に気付き、日々の生活を安心して楽しく送れるように心がけています。



<お誕生日はすき焼きパーティー!!>

入居者さんの誕生日には、お昼に皆さんとすき焼きパーティーを行いました。主役の入居者さんは普段は刻み食を食されていますが、いつもと違う雰囲気と、その場で出来上がる過程をみながら「すき焼きかーごちそうやな!」と満面の笑みで沢山頂いておられました。他の入居者さんも楽しく談笑しながら頂いておられました。楽しそうにされている方、満足そうにされている方、入居者さんの表情を見る事で、職員もいっぱい元気もらっています。また、春には毎年恒例の植物園にお花見レクも実施する予定です。(今久保)



二周年記念の食卓会

二周年を迎え、厨房委託業者さんのご協力を頂き、「まぐろの解体ショー」を実施しました。22キロの大きなマグロを目の前に歓声が上がっていました。1階ホールで行われた食事での献立は、まぐろづくし。大トロ、中トロ、中落ち…と説明をうけながらあっという間に完食でした。来年は33キロのマグロ(?)でまたみんなで元気に完食しましょう!



入居者さんにとって、山科積慶園での生活がよりたのしく、充実したものになっていくよう、職員一同努力していきますので、ご指導・ご鞭撻・ご意見をよろしく願いたします。(湯川)

医務室だよ!~

第4回「花粉症、鼻アレルギーはどんな病気?」

くしゃみ、水性鼻漏(すいせいびろう)、鼻閉(びへい)を3主徴とする疾患を、鼻アレルギーあるいはアレルギー性鼻炎と呼んでいます。季節性の大部分は花粉が原因であり、花粉症と呼ばれています。花粉症は今でこそ認知度が高いのですが、1961年に花粉症が発見され、患者さんは増え続けています。通年性アレルギー性鼻炎の原因としては、室内塵(しつないじん)(ハウスダスト)中のダニに対するアレルギーが多くなっています。一方、季節性アレルギー性鼻炎の原因アレルゲンでは、スギなどの花粉が圧倒的に多く、時に真菌(しんきん)の孢子などが関係している場合があります。主な症状は、くしゃみ、水性鼻漏、鼻閉です。それ以外にも咽頭部や眼のかゆみや異物感、流涙、頭痛、皮膚炎のような症状などさまざまな症状を示します。これらの症状は、通年性・季節性アレルギー性鼻炎に共通の症状です。ダニをアレルゲンとする通年性アレルギー性鼻炎では、しばしば気管支喘息が合併しますが、花粉症などの季節性アレルギー性鼻炎ではその頻度は低いとされています。通年性アレルギー性鼻炎であれば、局所ステロイド薬や抗ヒスタミン薬などの薬物療法がまずすすめられます。ダニと関係があれば除去目的で絨毯(じゅうたん)の除去や十分な清掃がすすめられ、また室内塵による減感作(げんかんさ)療法が有効なこともあります。一方、花粉症などの季節性アレルギー性鼻炎の場合には抗原除去は不可能ですが、外出時にマスクや眼鏡を使用すること、季節中は抗ヒスタミン作用のある抗アレルギー薬を定期的に内服すること、そして点鼻ステロイド療法が有効です。耳鼻科でアレルギーを専門とする医師に相談するとよいでしょう。

4ヶ月の行事

12月 クリスマス

昨年のクリスマス会に、職員によるハンドベル演奏を行いました。企画の段階では「簡単に出来るだろう」と



と考えていたのですが、いざ練習となると、皆の呼吸が合わずバラバラ（笑）。数少ない練習

でしたが当日は、最初こそ失敗はありましたが「きよしこの夜」を無事演奏することが出来ました。今後も共に楽しめる催しをしていきたいと思

1月 書き初め・のど自慢

1月8日（土）に「書き初め」を実施しました。

昨年に引き続き、“年のはじめのためしとて～♪”と歌の文句ではないですが…今年最初に行われる行事でもあり、皆さんが今年の初顔合わせとなる集いで多くの方が参加してくださいました。



今年はテーマとなる字「花宴」とあと一つは自分の好きな字を書いて頂く事にしました。ホワイトボードに掲示された見本の字である「希望」、「初夢」、「祭」、「初春」などを見ながら一生懸命に心を込めて、一筆、一筆丁寧に書かいておられました。その姿は…「今年も良い年になりますように」と祈るような思いを感じました。初春らしき良い雰囲気の中、時はとても早く過ぎるたように感じました。（吉仲）

2月 節分・外食

2月4日は節分豆まきを実施致しました。

入居者の方も喜んでおられ、楽しく豆を投げておられました。男性入居者さんの投げられる豆はやはり勢い



が有り鬼もビックリ！！入居者さんの笑顔が見られたのがとても嬉しかったです。（澤村）

外食レクへ行ってきました♪

2月23日施設全体外食レクリエーションで近鉄MoMoへ行きました。各ユニット2名ずつの入居者さんと3組のご家族の参加でそれぞれ食べたい物を選んでいただきました。

MoMoに着くと、がんこ寿司に直行されるグループや自由時間で以前から欲しかった帽子を購入されたりと思



いいつもと雰囲気が変わり、少食の入居者さんもたくさん召上がったのでスタッフも嬉しく思いました。（大屋）

3月 ひな祭り(ちらし寿司)

3月3日、昼食にユニットで雛寿司を作ることになりました。材料は厨房で準備頂き、女性入居者さんが主になって、昔取った杵柄とばかりに手伝って頂きました。

炊き立ての米飯を寿司桶に入れ、うちわで仰ぎながら酢を入れて混ぜていきます。とある入居者さんが「ちょっとご飯がやわらかいな。酢飯で柔らかくなるから、もう少し固めに炊いた方がええで。」また別の入居者さんが、うちわで酢飯あおいでる職員に「もっと仰がないと酢飯にツヤがでえへんで。」などなど、時には手厳しい？アドバイスを頂きながら、最後は皆さんに味見してもらい「ええ味でてるな」とOKサイン！



その後酢飯の上にお造りなど盛り付けして完成。「美味しいわ～」とほとんどの入居者さん達もペロリと完食。また食の細かい方で、普段めったに完食されない入居者さんが「こうやってみんなで作って食べると、美味しいもんやな。」と言われたのはとても印象的でした。作るのも食べるのも大好評のお寿司。また皆さん一緒に作りましょうね。（上木）